

# 碧水だより

平成20年 7月 7日発行 第3号  
 阿蘇市立碧水小学校 文責 麻生廣文  
 主な記事：(1面)全校集会(教頭先生・竹田先生・渡邊先生)サイレントゾーン  
 (2面)5年集団宿泊教室、朝読書紹介、楽しい音楽集会、プール掃除

学  
ぶ  
心  
鍛  
う  
心  
磨  
く  
心

## 清らかな碧水の心を育てるために

### 全校集会

教頭先生・竹田先生・渡邊先生のこんな素敵な話が聞きました

無人島と自由  
 七月一日の全校集会で、教頭先生は、「無人島と自由」という話題で話をされました。  
 それは、無人島に一人漂着したら(住むことになつたら)自由度は一(100%)。一人になれば二分の一。三人になれば三分の一。四人になれば四分の一。学級に二十八名いれば学級の中の自由度は二十八分の一になり、碧水小では二百四十二分の一になります。こんな話でした。集団生活を送るうえで、自由な部分と我慢(制限)する部分があることについての話でした。考えてみれば、人間は集団生活を基盤としていて、自由を仲間と分け合つて生活をする必要があり、そんな考え方をわかりやすく分けて話で語られたのです。  
 この話を聞きながら、私は「フランダースの犬」の話を思い出して、話を聞きました。主人公ネロとパトラッシュは食べ物でも何でも半分こ、分け合つていたように思います。でも幸せでした。仲間と自由や喜び、悲しみを共有することは、分け合うことそのこと自体が大切なことであり、人としての幸せなのだと思います。さすがに、算数教育を専門に研究された先生のお話でした。

見ざる 聞かざる 言わざる  
 昨年より、碧水小の廊下にいろいろな物が置かれていたのを存じでしよう。まず、廊下中央にいろいろとあり、季節によつては花を飾りました。今はそのいすに、先生方に募集したいろいろな言葉を飾りました。置き、置いてあります。オルゴールも置きました。昨年からはじめた「ストッパ五十五」の取組も継続しています。  
 碧水小学校の子どもたちは、元気いっぱいです。特に、一階廊下は百メートル競走ができるような魅力たっぷりの直線ゾーンです。未選選手目指せとばかり、つい廊下歩行が荒くなり、騒々しくなることしばしばでした。この元気がいいの子どもたちに身に付けてほしいこと。それは室内では静かに暮らすことです。  
 そこで、静かな廊下歩行をめざして、サイレントゾーンを設置することにしました。竹田先生より話がありました。「見ざる・聞かざる・言わざる」の三匹のサルのお話を示しながら、玄関横の会議室から放送室前で、ここはサイレントゾーンと名付けられ、特に静かに歩くと絵と笑顔に引きつけられた子どもたちです。きつと「巧みな話術と絵と笑顔に引きつけられた子どもたちです。きつと「静と動メリハリのある生活」を送ることでしょう。

思いやりの心が見える話  
 保健の渡邊先生の話もすばらしい話でした。今月の月目標、「トイレのスリッパをならべよう」についてのお話でした。教頭先生と土曜日に一つ一つのトイレにスリッパを並べておくための、足形マークをペンキ塗りされたことを話されました。そして、「思いやりの心と目には見えないけれど、トイレのスリッパを向こう向きに足形マークの通りに置くだけで、次の人が使いやすくなります。そうした時に、思いやりの心が見えますね。」とまとめられました。本当に「心を打つ味のあるお話」でした。



昨年度、先生方に募集した子どもたちに語りかけた言葉



放送室前の言わざる ロチャック姿



写真上：サイレントゾーンの表示

写真左：マスコットキャラクター

特に静かにしようという空間です。この間に、左の写真のように、たくさんのお話を展示させていただきます。言葉などが展示されています。昨年五月に、二年生(現三年生)の子どもたちがウサギとカメの絵に色を付け、飾り付けることから始まり、その後、言葉を取り組み、花を飾りたり、言葉を示したり、すべて、安全で静かな学校生活を送り、心豊かな子どもを育成する目的のためです。  
 最近では、子どもたちの生活にゆとりと指導が感じられるようになり、なにより、先生方も廊下を走れなくなり、引き継がれようとしてい

サイレントゾーンのスタンプから

サイレントゾーン  
 玄関横の会議室前 から 放送室前

六月十九日 木曜日  
結団式



この活動は、保護者の方々の協力のおかげで、無事実施されました。大雨の心配は、竹田先生は、無事実施されました。

水俣での学習  
環境学習  
人権学習



熊本の環境センターに、立派な木が植えられる予定です。大雨の間隙をぬって、計画はすべて実施されました。



芦北での学習は、この活動の成果として、今後の活動に活かしていきたいです。大雨の間隙をぬって、計画はすべて実施されました。



怖かったけど、心に残った肝試し

六月二十日 金曜日  
ペーロン競争

大雨の間隙をぬって、留守番の古閑選手が優勝しました。

先週のペーロン競争は、大雨の間隙をぬって、留守番の古閑選手が優勝しました。

海水浴の予定は、大雨の間隙をぬって、計画はすべて実施されました。



海水浴のあとの集合写真

退所式は、大雨の間隙をぬって、計画はすべて実施されました。

退所式のあとの全員集合写真



退所式の様子 立派な態度が光ります

引率された先生、井澤先生、小出先生、渡邊先生、河内先生（5名の先生）

ぐと身近に！碧水小 行事紹介

この写真は、4年一組の朝読書の様子です。とても真剣なまなざしです。音一つしない朝読書です。



教室の片方の隅の子どもも、朝読書をめくります。反対側の子も、朝読書をめくります。静かな状況です。

子どもたちの手による集会活動

今月は、音楽集会を紹介いたします。今年から新たな取組の始まりです。音楽集会の復活か、今年復活した音楽部（合奏部）の協力で、毎月開催しています。



六月十七日（火）の音楽集会の様子です。写真撮影も、音楽集会の際に行われます。

この写真は、大雨の間隙をぬって、計画はすべて実施されました。



プール掃除（6/6）



この日は、5年生の掃除活動が行われました。大雨の間隙をぬって、計画はすべて実施されました。



子どもたちは、環境美化活動を行いました。大雨の間隙をぬって、計画はすべて実施されました。



答：5年臨海学校のバス。サンライト（333号）雨を吹き飛ばしたこんな素敵なバスでした。